

生鮮食品の長距離幹線スイッチ輸送の合理化

実施主体

株式会社エムスクエア・ラボ

事業内容及び特徴

生鮮食品の長距離幹線スイッチ輸送

BEFORE

- ◆鮮度確保を目的とした迅速な輸送の場合は、多頻度小ロットの幹線輸送となり輸送コストが高い。
- ◆コストを抑えることを目的とした幹線輸送の場合は、結節点に品物を集めた後に輸送するため、滞留時間が長くなり食品の鮮度が悪い。



AFTER

- ◆生鮮食品の東西長距離輸送において、静岡をスイッチポイントとして活用することで物流費抑制と鮮度向上が可能が実証する。



スケジュール

開始時期: 2020年4月
終了時期: 2020年11月

効果

ドライバーの宿泊費の削減による輸送コスト削減と結節点での品物滞留時間削減による品質向上